



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 29 年 2 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会

PIPPU TOWN ASSEMBLY



1月8日（日）平成29年 成人式・・・農村環境改善センター

審議結果・12月定例会	2～3
第5回臨時会・意見書提出	3
ここが聞きたい一般質問	4～5
両委員会合同行政視察	6～8
各委員会報告	9～12
上川管内議員研修会	13
議会のうごき	14

第4回 定例会

12月12日（月曜日）議案6件可決・意見書3件採択

第5回 臨時会

11月25日（金曜日）議案5件可決

※ 紙面の都合上、その内容の趣旨のみを掲載させていただきます。

協定変更

◆定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定

平成27年12月議会において、上川中部1市7町で構成する大雪広域観光圏進捗協議会では「観光圏」の認定を目指していたため文言の追加整理を行いました。観光庁が新たな認定に慎重になったため、今後は日本版DMO法人の設立を進めるために文言整理を行い、原案のとおり可決されました。

※日本版DMOとは？

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに「観光地経営」の観点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協力しながら、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた団体

条例改正

◆比布町税条例の一部を改正する条例

①給与等、公的年金等又は退職手当の支払い者に対しての申告書にはマイナンバーなどの事

項を記載した帳簿を備えているときは申告書にマイナンバーの記載を要しないとされたことによる改正

②日本と台湾との間で支払われる利子及び配当等の所得に対し、申告分離課税により3%の所得割を課することとする新設の規定

③前条新設に伴う条のずれ、文言の修正

以上の内容で原案のとおり可決されました。

◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

所得税法の一部改正により所得割額の算定及び現軽減判定に用いる総所得金額に含めるための既定整備で原案のとおり可決されました。

◆比布町農業委員会委員の定数に関する条例の全部を改正する条例

農業協同組合法の一部改正を得て、農業委員会委員は公選制から議会の同意を得て、市町村長が任命する定数は今までの人数と同じ11名とされ、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成28年度比布町一般会計補正予算(第6号)〔第5回臨時会〕
比布中学校改築に伴う建築確認申請手数料16万円の増額補正で原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町一般会計補正予算(第7号)〔第4回定例会〕
経済対策臨時福祉給付事業費補助金の増
1千604万7千円
保育所設置委託料の増
781万4千円
担い手確保・経営強化支援事業補助金の増
1千161万2千円
遊湯びっぴ指定管理委託料の増
612万円

等が主な補正で原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定)(第3号)〔第4回定例会〕
高額療養費721万3千円の増額補正で原案のとおり可決されました。

各会計補正額と補正後の総額

会計区分	補正額	補正後の総額
一般会計(第6号)	160千円	4,366,432千円
一般会計(第7号)	43,014千円	4,409,446千円
国民健康保険特別会計(第3号)	7,213千円	659,916千円

() 内は補正回数

第5回臨時会

11月25日

◆専決した事件の報告
平成28年8月13日比布霊園駐車場でグレーチングが跳ね上がり、車に損傷を与えた事故の損害賠償額の決定についての報告

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告により、議会議員及び特別職の6月、12月に支給する期末手当の割合をそれぞれ100分の5ずつ引き上げる改正で、原案のとおり可決されました。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に基づき改正で、扶養手当の追加、変更、手当額の変更で原案のとおり可決されました。

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
介護時間の取得に関しての定義を追加するもので、原案のとおり可決されました。

意見書を提出

第4回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

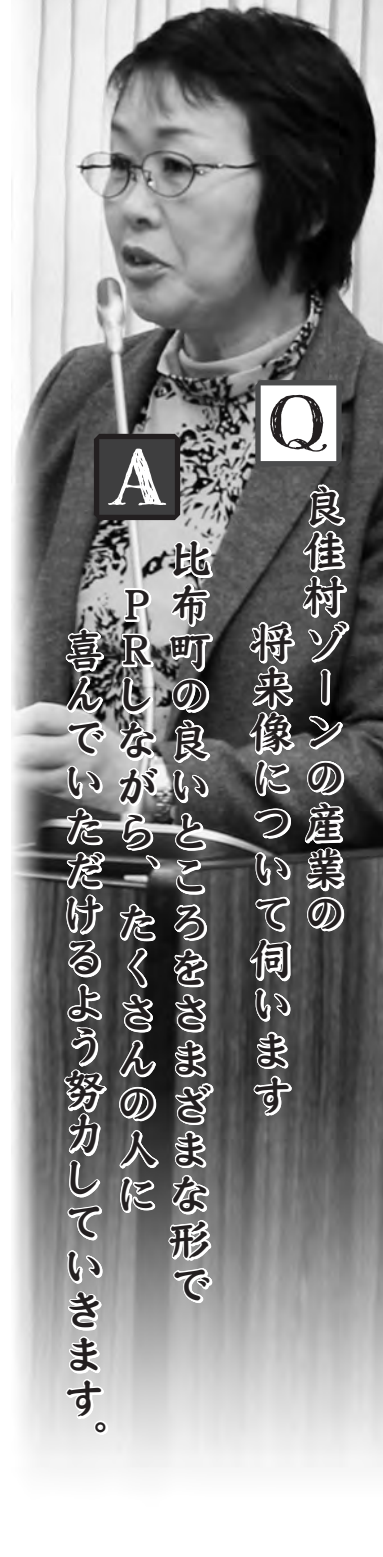
◆大雨災害に関する意見書

◆JR北海道への経営支援を求める意見書

〔提出先〕

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣官房長官、防災担当大臣





Q

良佳村ゾーンの産業の
将来像について伺います

A

比布町の良いところをさまざまな形で
PRしながら、たくさんの人に
喜んでいただけるよう努力していきます。

遠藤議員 交流促進施設「遊湯びっふ」について指定管理者

との連携を深め、今年度も様々な取り組みを進めています。景気の後退傾向が続く中、宿泊、入浴など前年対比を上回ることができません。来館者増に向けての取り組みも季節により宿泊、入浴、休憩室も更なる取り組みが必要かと思えます。そこで民間活力が発揮されたかどうか伺います。

また、町内に通勤・勤務する人が2010年国勢調査時には363人いました。比布町に通勤・勤務している方たちに対し、良佳村ゾーンを利用してもらう働きかけをどのようにしていくか新たな施策を町長に伺います。

伊藤町長 指定管理者制度への移行後は、平成25年に前年を上回る来館者数がありました。が、依然として厳しい状況と認識しています。

宿泊客以外のお客様は、施設内のレストランが利用できなくなり不便をおかけしている状況ですが、民間活力は十分に発揮されていると思っております。

指定管理者制度では、基本的には町の監督のもとに行われますが、営業方針等については、行政が過度に助言することは、逆に民間活力を阻害するものと考えています。

しかし、グリーンパークびっふやスキー場との関わりが深い施設なので、セット券の販売やPR活動、情報共有など、良佳村全体の活性化に向けて協議し連携することは、当然必要なことです。

また、比布に移住してもらうために、比布町の良いところをさまざまな形でPRしながら、施策を実施しているところです。観光施設に限らず、体育施設や図書館など、多くの施設やイベント等に関わりを持って

いただけるよう、今後とも町内外に広くPRさせていただきます。

遠藤議員 決算書が出された時に来期の事業計画についてどんな話し合いをしましたか。

伊藤町長 良佳村ゾーン全体を使ってお互いに良い効果を生むため、毎月、報告を受けた際に情勢について、そして必要な時には協議をしています。

遠藤議員 全国では指定管理者を外有識者に評価してもらった施設があります。そのようなことを考えてはどうですか。

伊藤町長 指定管理者とは、お互いに信頼関係を持ってやっていますので、外部の評価までは受けなくても良いと思います。

遠藤議員 今後の営業の方向性として町民の利用者、町外の利用者の総体的比率の調査をしていますか。毎月の「風呂の日」、光明石の効能を打ち出すなどもPRしてはどうですか。

伊藤町長 今、調査中です。

お客さんに喜んで頂ける施設にするよう、頑張つて努力して行きたいと思えます。

「町民文化祭の準備の簡略化について伺います」

遠藤議員 作品発表の展示する会場作りが大変になってきています。白布を会場の壁にはり巡らす作業等、簡略化出来ないか教育長に伺います。

谷 教育長 確かに会場づくりには大きなものや重たいものもあり、設置、撤去には大変な面もあります。『みんなで作る文化祭』にしようとする想いや、多くの町民の皆さんに来場していただき楽しんで鑑賞していただきたいという想いを持って、準備、後片付けをしていただいているのではないかと考えています。

ご質問の準備の簡略化や負担の軽減につきましては、実施主体である実行委員会や中核的な役割を担っている文化連盟とも、今後しっかりと協議をさせていただきます。

植西議員 産業構造の把握をどのように進めているのかお聞かせください。

伊藤町長 昨年策定した人口ビジョンには国勢調査の結果を中心に、構造把握しています。

植西議員 不足している産業を考えると現状困っていることに配慮しなくてはならないと思います。例えば、除雪に携わる人が不足していることを解消する産業とは何なのか。例えば人材派遣というものがあると思います。

また産業振興課以外の部署力、テゴリーの中で不足している産業を探ることも必要だと思えます。部署間で連携しながら問題点を探ることに對して考えを聞かせてください。

伊藤町長 町内に必要な事業所を設置することは需要数を鑑みると厳しい状況にあります。

しかしながら、産業振興課だけで産業振興をはかるのではなく、町外との連携も図り、さら

に商工会も含め連携をしながら良い形にするように努力したいと思えます。

「農業支援について」

植西議員 未来に向かった支援をすることで、後継者が増えることが期待されます。高付加価値農産物のニーズを把握し、目標を設定すれば、素晴らしい農産物を生産する能力は比布町の農家にはあります。

また、同時に上川農業試験場との交流を今以上に密にする必要があると思います。未来志向の農業政策について、行政としてできることはないでしょうか。

伊藤町長 農業施策においては、市町村における政策展開も自由度が少なくなっています。今後大きく変化が予想される農業にあつて、どのような方向になつても耐えうる、農業の体質強化こそ必要だと思つています。

上川農業試験場との交流については、本年度からいちごの果実特性調査や施設野菜の試験栽培における現地調査に参加しています。

なお、苺については、本町の気候や栽培体系に適した地域ブランド品種の開発を、上川地域農業技術支援会議に要望し、新たな振興策を検討しています。

引き続き、積極的な取組みを展開しますが、比布町だけの試験機関ではありませんので、ご理解をお願いします。

植西議員 地方創生と言う観点からもっと積極的に地域の基幹産業というものを支えて行く必要があると思えます。

そこで私が提案したいのは、高付加価値農産物のニーズを把握し、農家に生産を斡旋する方法です。比布町のキノコ農家が道知事賞に輝いたことは記憶に新しいことだと思えます。

このようにしっかりと目標があれば、素晴らしい農産物を生

産する能力は比布町の農家にはあるのです。

比布町のいちごの状況を判る範囲でお答えください。

伊藤町長 生産量それから戸数共に厳しい状況になってきていると思います。

植西議員 いちご農家を個別に見るとイチゴ狩りの客数が多すぎて断つているところもあるようです。断つたお客さんに遊湯びつぷの券を配るなど産業の活性化にも繋がっていくようなフオローがあつても良いと思えます。

この件を踏まえて農業支援について何かお考えがあればお聞かせください。

伊藤町長 農業従事者がリスクを背負いながらやると言う姿勢で支援を提案していただければ、対応したいと考えております。

植西議員 農産物の消費者ニーズ把握法に「テキストマイニング」を使う方法があるようです。これはいろんな産業分野にも、活用できると思えます。

農産物ニーズが、ある程度把握できれば、農業者がどういう物を作っていけば儲かるのか、そういうことが把握できるかと思えます。

〔45分経過により答弁ありません〕

Q 産業振興の取り組みについて

A 町外、商工会とも連携を図り、良い形にするよう努力していきます。



10月17日（月曜日）・18日（火曜日）

総務・産業建設 両委員会合同 行政視察調査を実施

産業建設常任委員会 行政調査

〔10月17日〕

【俱知安町の概要】

面積 261.34km²

人口 1万5千673人

世帯 8,226戸

（うち外国籍住民962人）

高齢化率24%

（道内で8番目の低さ）

【町名の由来歴史】

アイヌ語のクツシャニ「曲がりくねった川」を意味し、尻別川の支流、俱登山川は、古くはクツシャニ（クツサニ）と呼ばれ、この「クツサニ」が「クツチャン」に変化したもので、漢字表記には、「俱（とも）に安きを知る」という先人の想いが込められています。

【地勢】

北海道の南西にあって札幌から2時間、後志のほぼ中央に位置し、南東に支笏湖洞爺国立公園、羊蹄山、西に国定公園、ニセコ連邦が連なり豊かな自然に恵まれており夏は温暖で山岳地は家畜の飼育に、盆地は肥沃な農耕地として馬鈴しょ・ビートの耕作に適しています。冬は道内有数の豪雪地にあつ



てニセコ連山は格好のスキー場となり、道内外、海外からも多くのスキーヤー、ボーダーが楽しんでいる。また、尻別川の豊富な水は羊蹄山の湧水とともに農業・工業に利用されている。

【農業】

山岳部は酪農地帯、比較的平坦な盆地は畑作地帯として、稲作、畑作、酪農を基幹として、稲地適作を進め、米、馬鈴しょ、小豆、大豆、小麦、てん菜等を中心に町の基幹産業として地域の発展に寄与しており、中でも馬鈴しょが農業粗生産額40億5千万の内19億2千万と43.2%を占めており、町の特産品となっている。

【観光】

「ニセコエリア」の中にあり冬期間はスキー、夏期はラフティング等の観光を中心に通年型長期滞在地として発展させるため、「ロングステイ事業（アジア富裕層、首都圏ファミリー層等の新たな顧客層の獲得）」・スポーツツーリズム事業（自転車イベント）・「フロートレイル事業（スキー場夏季利用）」を進めている。

【調査内容】

今年で開業50周年の「ぴっぷるスキー場」はセンターハウスの新設、リフト整備等でリニューアルオープンを迎えます。

懸案事項でしたセンターハウスも今年度ようやく無事に改築が済み運営が出来ます。館内には総合案内所やスノーボードスクール、約300名収容のレストランにキッズコーナー、更衣室も完備してこれまでの視察や委員会での議論が形となり今までご利用のお客様に加え、新たなお客様も迎えられそうです。これまでも委員会ではゲレンデの冬期間はもとより夏季の利用について視察、調査を行って来ましたが、視察先の運用方法、内容等のハードルが高く現実には至りませんでしたが多くの参考として参りました。

この度伺いました倶知安町は北海道を代表する一大スキー観光地「ニセコエリア」を有する町です。1973年に「スキーの町」宣言の後、バブル経済期はリゾートホテルやペンションが開業。その後景気の低迷期も迎えました。2000年以降は説明をするまでもなく、いち早く欧米を中心とした海外のスキ

ーヤーに「パウダースノー」の人気で着目され近年はアジア系の方々を中心に多数の来場を有し、北海道のインバウンド効果を牽引されています。現在では通年型長期滞在地と



倶知安町 町営旭ヶ丘スキー場
夏場利用マウンテンバイクコース

ンバイクのコースに整備する国内初のフットレイル導入に向けて造成、体験会の開催を行っていました。また、夏季スキー場の新たな活用を検討していました。

【委員会所見】

観光資源の少ない比布町唯一の交流区域がスキー場を中心とした良佳村エリアです。町の冬季雇用もあるスキー場はセンターハウスの新設、イベントの増加等により多くの利用者が期待でき、リフト収入も昨年以上の売り上げが見込めると思います。

しかし近年はパークゴルフ競技者人口減少や遊湯ぴっぷるの利用減少と夏季の入込が伸び悩んでいます。

北海道を代表する観光地のニセコエリアが夏季の滞在増を考えている要因の一つに夏と冬の観光業の平準化を考えていました。アジアの方々を中心としたインバウンド効果も徐々に少なくなり夏季観光の今以上の必要性、飲食業や

総務常任委員会

行政調査
〔10月18日〕

《由仁町》

【由仁町の概要】

明治25年 戸長役場がおかれ
由仁村が誕生
昭和25年 町政施行により由仁町となる
平成25年 開町120年を迎える
札幌市から約40km、空・海の玄関口、新千歳空港、苫小牧港へのアクセスが便利な人口約5千400人「都会に近い田舎暮らし」を目標とした町づくり。

【町名の由来歴史】

アイヌ語の「ユウンニ」（温泉があるところの意味）が語源とされている。

【地勢】

空知管内の最南端に位置する東西に8km、南北に32km総面積133.74km²、南北に夕張川、

西部・南部には、馬追丘陵が広がっています。

【産業と特産品】

基幹産業は水稲を中心に、ナラの原木による椎茸栽培や、食用ほおずき、カスミ草、などの切花とハーブ関連の商品などで、平成21年度からは、「やつぱり由仁のものがいい」を町全体で事業推進しています。

【観光】

「ユンニの湯」や英国式「ゆにガーデン」オートキャンプ場、いちご・りんご・ぶどう狩り等ができる「観光農園」など、町内外からの多くの来場者を迎えています。

【調査内容】

＊移住定住対策への経過と取り組み

由仁町では、平成7年度に全農家を対象とした「農地の流動化に関する調査」を行い、潜在的な理由で離農予定者が向こう10年間で、約500戸の農地が、遊休化するという深刻な結果と札幌市在住の方から、500坪程度の家庭菜園付き住宅で、定住を希望するニーズがあり、過疎化の解消や農地荒廃化防止による、「農地付き住宅推進調査」を（町・道・開発局・道工大・

コンサル会社）と平成9年にプロジェクトチームを編成し、農地の有効活用を目標としたが、「農振整備法」や「農地法」の制約があり、事実上は不可能と結論付けられました。



計画を再構想する一方、土地利用の混乱・優良農地の分断、環境や景観の悪化等が懸念され、「優良田園住宅建設の促進に関する基本方針」を作成し、計画認定制度を実施しました。

平成10年7月に「優良田園住宅建設の促進に関する法律」が施行されたことを基に、田園住環境の形成を通じて、定住の促進や交流人口の拡大など、新たな地域づくりへの可能性と定住

平成12年3月から、全国に移住希望者を募集し、第1期目の計画8区画には145組の応募があり抽選を行い、平成14年3月に住宅建設が完了され、同時に第2期目の計画18区画には103組の応募があり、平成16年3月に建設を終えました。

第3期造成までを計画していましたが、民間企業が事業の継続を希望し、平成21年7月、3期目の「ゆにビレッジ」の募集が開始され、現在26区画中11区画が売却済みとなっています。

【委員会所見】

比較的市街地からも近く、自然豊かで良好な環境が形成さ

れ、近隣には公民館・小学校のほか、町立病院やJR駅や商店街とも近接し、全ての移住希望者（建築主）が管理組合を組織し、コーディネート（建築士や専門家）の助言を得ながら、環境整備、区画割り、土地取得から建設まで、アドバイスを行うコーポラティブ方式を採用し、新たな住宅地形成への取り組み、環境・景観に配慮した緑化対策、特に既存の居住者との連携や融和・地域コミュニティの拡大などに配慮し、さらなる良好な居住環境の展開形成が見込まれ、優良田園住宅街のさきがけとして、今後も期待をすることができると見られます。

また、由仁町地域おこし協力隊、第1号として平成26年7月より着任したNPO法人ユニライズ代表理事の橋本直樹氏（東京都生まれ42才）の活動も、町と併用した移住定住に関する取り組みを行い、SNSや広報誌を駆使した、由仁町内の情報発信、若者が移り住み定住できる町、起業を含めた定住事業を商工会青年部と合同で「創業チャレンジ塾」を展開し町内外より注目と話題を広げています。

委員会の活動

activities

産業建設常任委員会

【現地視察】

▼▼▼ 11月15日開催

びっぶスキー場センターハウス

愛称「スキップ」



レストランほくれいロジカウンターの前には広々とした休憩所があります。

総務常任委員会

▼▼▼ 11月25日開催

第5回臨時会提出議案について

総務常任委員会

▼▼▼ 11月29日

30日開催

【税務住民課】

《報告事項》

平成28年度(10月末)町税及び

収入状況について

・町民税 収入済額

7千986万6千345円

54.38%

・固定資産税

7千876万20円

59.18%

・軽自動車税

1千229万4千763円

95.76%

・たばこ税

1千703万6千383円

100%

・国民健康保険税

5千451万3千858円

37.18%

・介護保険料

4千866万7千800円

94.10%

・後期保険料

1千714万4千700円

75.76%

上川広域滞納整理機構について

・機構全体

引受件数

218件

1億3千566万2千956円

収入額

4千464万1千566円

32.90%

・比布町分

引受件数

18件

673万8千166円

収入額

322万6千059円

47.87%

マイナンバー交付状況について

・平成28年交付状況

76件

・総交付数 合計 186件

《協議事項》

比布町税条例の一部改正(案)について

【保健福祉課】

《報告事項》

(福祉係)

・平成28年度高齢者等の門口除雪事業について

(保健係)

・各種検診受診状況について

(国保医療係)

・各医療費の状況について
(介護保健係)

・包括支援センター・介護保険
事業の利用状況について

《協議事項》

新国民健康保険制度について

12月定例会提出議案

・国民健康保険税条例の一部を
改正する条例

・一般会計補正予算(案)につ
いて

社会福祉総務費経済

対策臨時福祉給付金事業

1千604万7千円の増額

児童措置費保育所措置事業他

806万4千円の増額

予防費健康教育事業

17万1千円の増額

・国民健康保険特別会計補正予
算(案)について

一般被保険者高額療養費高額
療養費721万3千円の増額

・その他

【生涯学習課】

《報告事項》

比布中学校校舎改築事業につ

いて

・平成29年度予算を前倒し(予

定の計画を繰り上げて)28年
度中に補正予算分で内定し、

確認申請をはじめとする、手
続きと今後の予定を確認しま
した。

学校施設等における石綿含有
保温材等の点検・維持管理につ
いて

平成29年度修学予定児童につ
いて

男児7名、女児16名 計23名

全国学力・学習状況調査「北
海道版結果報告」について

第68回成人式の開催について

平成29年1月8日(日)

旧蘭留小学校跡地利用につ
いて

・現地視察

(総務委員会報告記載)

《協議事項》

平成28年度一般会計(教育費)

第7号補正予算(案)について

・教育振興費 扶助費

57万円増額

【総務企画課】

《報告事項》

第4回定例会提出議案につ
いて

・定住自立圏の形成に関する協
定の一部を変更する協定につ
いて

・比布町税条例の一部を改正す
る条例について

・国民健康保険税条例の一部を
改正する条例について

平成28年度比布町一般会計補
正予算(案)第7号について

既定の歳入歳出予算の総額に
3千729万5千円を追加し

44億372万7千円

平成28年度国民健康保険特別
会計補正予算(事業勘定)(第
3号)について

既定の歳入歳出予算の総額に
721万3千円を追加し

6億5千916万円

表彰について

感謝状

大西 時男さん(3区)

交通安全指導員、指導員隊

長歴任

林 義雄さん(新町)

交通安全指導員

功労表彰

大河 弘子さん(新町)

保護司、保護司会支部長歴
任

中根 慶邦さん(寿町)

民生委員・児童委員、協議
会会長、道民生委員上川支
部長歴任

功労表彰

(故)門脇トキイさん

永住表彰

功労表彰

永住表彰

移住・定住対策について

ふれあいタウン販売状況につ
いて

平成28年度1区画販売済み、
残り1区画

空き地・空き屋流動化対策に
ついて

平成28年度対象物件数36件

本年度流用実績6件(比布町
ひと・まち・しごと総合戦略
目標数20件/平成31年度ま
で)

民間集合住宅建築促進事業に
ついて

平成28年度建築予定数

8棟24戸中 新町4棟16戸・

緑町2棟8戸 計24戸(比布

町ひと・まち・しごと総合戦

略目標数24戸/平成31年度ま
で)

地域おこし協力隊採用につ
いて

地域おこし協力隊

浦生直哉さん



地域おこし協力隊
浦生直哉さん

〈氏名〉浦生 直哉 さん(43歳)
旭川市出身(前任地東京都内)

平成28年10月24日着任（役場非常勤特別職）

イベント活動・町づくり全般・町内有志と共に起業運営も目標とする。

・平成29年度職員の採用状況について

《協議事項》

地域交通（JR・バス・タクシー）について

・JRについて

経営難が続くJRの廃線合理化方針が打ち出され、宗谷本線もその対象となり、和寒以北の協議会（22市町村）に本町と旭川市が新規に加入し24市町村と稚内・名寄・土別の3商工会議所と上川管内と宗谷管内2商工会連合会の5団体と共に存続に向けた活動を行う。

・バスについて

経常的に赤字路線となっている、旭川⇄名寄線について路線存続のため、沿線各自治体（名寄市・土別市・剣淵町・和寒町・比布町・旭川市）で路線維持負担をしている。（本町負担分 平成28年度約170万円・平成29年度約105万）

路線維持の観点から各、自

治体当面は容認するも、定期的に協議を進める。

・タクシーについて

閉鎖中であつた駅前通り比布営業所は構造劣化と危険回避の為、解体されましたが、鷹栖町本社よりの営業は継続されます。

第4回議会定例会提出議案について

・定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定

・平成28年度一般会計補正予算【第7号】について

【総務委員会現地視察】

旧蘭留小学校跡地再利用状況

・平成28年11月30日実施

平成22年度末、大変多くの方々に惜しまれながら、廃校となつた旧蘭留小学校跡地が、6年5ヶ月の空白を超え、11月1日より女性専用スポーツジムとして再開されました。

校舎内は懐かしさを残しながらも、ジムらしく装われ、多数のトレーニング機器が設置されておりました。

縁あって本町に移住を決められた、『代表者の熱意とお

人柄を活かし』、以前の蘭留小学校同様に地域に愛され、賑わいの施設となります事、心より祈念いたします。

産業建設常任委員会

12月6日開催

【商工・観光部門】

《報告事項》

「遊湯びっふ」利用状況施設管理料について

11月末現在

入浴者数 6万3千763人
 宿泊者数 6千629人
 合計 7万392人
 前年同月比 73.4%

・「グリーンパークびっふ」営業結果について

平成28年度1万5千954人
 508万6千852円
 前年比 84.4%
 ※過去最高年度平成15年

1千914万9千円
 開設16年目、管理料の内容、パークゴルフ人数の減少等、今後の運営について一層の協議が必要です。

・「びっふスキー場」多くの来場者のもと、12月1日に予定通りにスキー場並びにセンター

ハウスの開場式を行いました。シーズン券購入昨年対比 122.99%

今シーズンから日専連カード利用可、従業員数25名、各リフト・ナイター設備整備の五か年計画

《協議事項》

交流促進施設運営事業費の増額分補正について

管理委託料 612万円
 いちご狩りPR事業の増額補助金 13万6千円

新たに2事業者により「遊湯びっふ」の道の駅化について

【農林部門】

《報告事項》

・平成28年度 米等出荷・青果販売実績
 米一等7万1千625.5俵

加工用米9千24俵 (農協・山森)
 備蓄米2万1千13俵

小麦 1等、2等 (農協出荷分)
 4千174俵 ()

大豆 1千274俵 ()

早い降雪により28日未收穫

そば	761俵(〃)
小豆	196俵(〃)
いちご	
出荷量	1万9千24kg
前年比	107.8%
千本葱	
出荷量	1万1千791kg
前年比	78.0%
・平成28年度経営所得安定対策交付金	
①畑作物直接支払交付金	
麦、大豆、そば等件数	67件
交付金額	4千838万7千300円
②米の直接支払交付金	
対象面積	11万3千549㌥
件数	166件
交付金額	8千516万1千750円
③水田活用直接支払交付金	
(1)戦略作物助成	
件数	253件
交付金額	1億5千806万8千円
(2)産地交付金【道 枠】	
交付金額	6千328万8千920円
【地域枠】 交付金額	
1億2千439万2千570円	
総 計	4億7千929万8千540円

※昨年計

4億7千132万2千300円

《協議事項》

平成28年度一般会計補正予算

(案)について

経営体育成支援事業補助金の増 66万1千円

担い手確保・経営強化支援事業補助金の増 1千161万2千円

米の生産数量目標の配分ルールと取り組み目標について

今年度で最後の米の配分ルールです。次年度に繋がる取り組みが必要です。

【建設課】

《報告事項》

諸工事の発注及び進捗状況について

みどり町団地A棟建設工事 進捗率60%

・平成28年度除雪計画(案)町

道除雪路線 町道延長 170.0km

総除雪延長 125.2km

除雪体制

除雪トラック 3台

除雪専用車 1台

除雪ドーザー 2台

ロータリー除雪車 1台

ミニホイローローダー 1台

歩道用小型ロータリー除雪車 1台

除雪従事者

嘱託職員 1名

臨時職員 10名

除雪機械の適切な利用、耐雪場所の確保、除雪時間について

ランル地区を新たに委託作業平成28年まちづくり要望事項について

《協議事項》

河川の中州の倒木により川の流れを阻害している箇所や河川敷の雑木の伐採等、台風等への対応が必要です。建設課への要望は例年多数です。

簡易水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略について

平成28年度末に将来の料金等の妥当性についての計画報告

【農業委員会】

《報告事項》

平成28年度水稲生産量の答申について

10㌥当たり平均収量 554kg(前年578kg)

農地法及び基盤強化法による農用地集積状況について

《協議事項》

比布町農業委員会委員の定数

比布町農業委員会委員の定数

皆さんも傍聴しませんか

次回の定例会は3月に開会の予定です。
詳しい日程は、無線放送等でお知らせしています。
皆様の傍聴をお待ちしています。



に関する条例改正(案)及び関連規則・要綱(案)について
農業委員会の選出方法が今までの公選、推薦方法から任命制に変わるにより条例改正、規則、要綱を改めるものです。

10月26日
美瑛町

上川管内議員研修会

上川町村議会議長会主催による研修会に本町議会議員8名で出席し、2名の講師による講演を拝聴してきました。

旭川市内のホテルでの開催が通常でしたが近年は近隣町で開かれ、各町村の施設を視察出来る他、政策や運営の一部が垣間見え、町村議長会の配慮が伺えます。

自治通信社開設委員長

山田 恵 資 氏

「政治の行方を展望する」



講演は時事通信解説委員長・

山田恵資氏による現政権、政府の外交政策等の話題からなる「政治の行方を展望する」、そして平成30年から都道府県による運営を迎える「国民年金制度改革について」北海道保健福祉部の望月康彦課長による解説と説明を頂きました。

現在の北海道内の国保運営状

北海道保健福祉部健康安全局

国保医療課長

望月 康 彦 氏

「国民健康保険制度改革について」



研修会が開催された
美瑛町民センター



況は各市町村により医療費も含め乖離しており、負担の公平性等課題も多く実施に向けて情報収集、シミュレーションが今後、必要となります。

私ども、議会議員は町民の国保税の公平性はもちろん、社会保障費の抑制も考えなければなりません。

今回の講演を聞いて課題への一層の取り組みをして参ります。

【今井 明 信】

研修会に出席した議員8名



◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

11月

- 8日 上川町村議会議長会臨時総会 (東京都、議長)
- 9日 全国町村議会議長大会 (東京都、議長)
- 10-11日 上川中央部市・町議会議長道外研修会
(長野県他、議長)
- 15日 産業建設常任委員会(現地視察)
(ぴっぷスキー場、全委員・議長)
- 22日 上川教育研修センター第1回臨時会
(旭川市、議長)
上川中央部市・町議会正副議長会議
(旭川市、正副議長)
- 25日 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)
議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
第5回議会臨時会 (役場、全議員)
- 26日 くるみ保育園おゆうぎ会
(改善センター、議長)
- 29-30日 総務常任委員会
(役場・蘭留小跡地、各委員・議長)

12月

- 1日 ぴっぷスキー場会場式
(ぴっぷスキー場、全議員)

- 2日 大雪浄化組合議会定例会
(愛別町、各組合議員)
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
(愛別町、各組合議員)
- 6日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 9日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 12日 第4回議会定例会 (役場、全議員)
- 22日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、各組合議員)

1月

- 7日 比布消防団出初式
(比布コミセン・改善センター、全議員)
- 8日 平成29年(第68回)成人式
(改善センター、全議員)
- 10日 比布商工会新年交礼会 (比布商工会館、議長)
- 13日 議会広報特別委員会 (役場、各委員)
- 14日 北口ゆうこう道議と語る新春のつどい
(土別市、議長)
- 23日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市、議長)
- 24日 議会広報特別委員会 (役場、正・副委員長)
- 27日 上川中央部市・町村議会議長定例会
(東神楽町、議長)



祝成人

1月8日 平成29年成人式が改善センターで行われました。久しぶりに顔を合わせた34名が成人の日を迎え、懐かしいビデオを上映したり、ビンゴゲーム等をして盛り上がりました。

◆ 編集後記 ◆

すこし遅いのですが、皆様、新年明けましておめでとうございませう。

昨年、北海道に3個の台風が上陸し、特に台風10号では上川管内の南富良野町に多大なる損害があり、比布町議会からもお見舞金を送らせていただきました。

4月の熊本地震、年末には新潟の大火がありました。比布町においては、大きな災害もなく、おむね平穏な年となりました。

今年も子ども達が元気に遊び、お年寄りもハツラツと過ごせる比布町を目指して議員一同頑張ります。

議会広報も一人でも多くの方に読んで頂けようよう精進してまいります。

皆様に幸多い年となります様にお祈り申し上げます。

【八巻 良博】